

大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット - 「ヘラクレス」市場

2006年6月21日

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196

株式会社ソフトフロント

代表取締役社長 阪口 克彦

(証券コード番号:2321)

神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

NEC エレクトロニクス株式会社

代表取締役社長 中島 俊雄

(証券コード番号:6723)

**ソフトフロントとNECエレクトロニクス、
platformOVIAに対応したPoCライブラリで協業
～ 「組み込みシステム開発技術展(ESEC)」にてデモンストレーションを実施 ～**

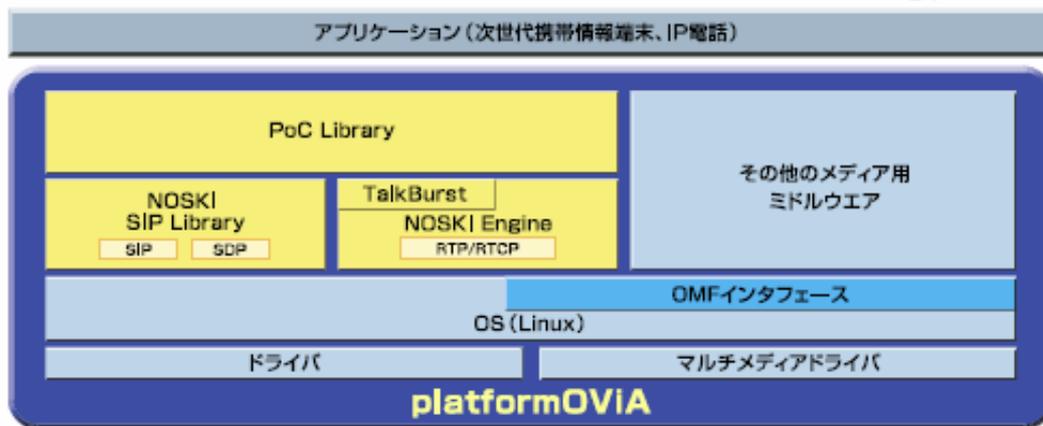
株式会社ソフトフロント(本社:札幌市、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)と NEC エレクトロニクス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:中島 俊雄 以下、NEC エレクトロニクス)は、次世代携帯電話端末のグローバルな普及促進と、携帯端末メーカーの開発期間の短縮、コストの削減を目的として、NEC エレクトロニクスの半導体ソリューションプラットフォーム「platformOVIA」上で動作する PoC(Push-to-Talk over Cellular)アプリケーションを共同で開発いたしました。

PoC アプリケーションは、IMS(*1)プラットフォーム上で使用できるアプリケーションの一つで、トランシーバーのように、複数の相手に対して一斉に音声の発信をすることができます。個人同士の簡単な連絡のみならず、工場やオフィスでの一斉連絡や情報共有など、ビジネス用途での利用が期待されます。今回の共同開発は、ソフトフロントの OMA(*2)に準拠した PoC アプリケーションと NEC エレクトロニクスのデジタル信号処理プロセッサ技術の融合により実現したものです。

このたび開発した PoC アプリケーションは、OMF(OViA Media Framework :マルチメディア処理ソフトウェア)の音声コーデックを利用し実現しております。OMF では、音声コーデックのみならず H.264 デコードや MPEG-4、JPEG といったさまざまなメディアコーデックのエンコード/デコード処理を行います。今後、ソフトフロントと NEC エレクトロニクスは、両社が持つ SIP アプリケーション技術とメディア処理技術を融合させて、PoC の音声通話だけでなく、OMF を利用したビデオ通話の可能な「Push-to-X」への拡張にも積極的に取り組んでまいります。

なお、6月28日～30日まで東京ビックサイトで開催されます「第9回組み込みシステム開発技術展(ESEC)」において、NEC エレクトロニクスブースにて「platformOVIA」上で動作する PoC のデモンストレーションを実施いたします。

< PoC ライブラリスタック図 >



【各社からのコメント】

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦

「次世代携帯電話端末の開発において最も注目されているアプリケーションである PoC が platformOVIA 上で提供できることにより、携帯端末メーカー様にとって、より魅力的な開発プラットフォームになりました。これにより、今後 platformOVIA の採用がより加速することと思います。さらに、両社による Push-to-X への拡張の取組みも多くの携帯端末メーカー様より支持されることと思います。今後の拡大する市場へ向けて、この協業が実り多いものであることを期待します。」

NEC エレクトロニクス株式会社
システムソフトウェア開発事業本部長 光岡 誠治

「platformOVIAの携帯ソリューションの一つとして、携帯電話におけるSIP、VoIP技術に優れた実績のあるソフトフロントのPoCアプリケーションを準備できたことは、非常に意義あるものと考えております。今後も、ソフトフロントと協力し、携帯端末メーカー様に対してより魅力的な機能を実現するためのVoIPメッセージングサービス技術を、platformOVIAのソリューションとして提案してまいります。この協業により、携帯電話市場に向けて、高い品質を維持した製品を提供できるものと期待しております。」

【第9回組込みシステム開発技術展 (ESEC 2006) 展示概要】

日程 : 2006年6月28日(水) ~ 30日(金)
場所 : 東京ビックサイト
出展ブース: NEC エレクトロニクス株式会社ブース
出展内容 : 「platform OVIA」を利用した PoC デモンストレーション

【用語解説】

(*1) IMS (IP Multimedia Subsystem)

第3世代携帯電話の規格標準化を行っている団体「3GPP」(3rd generation partnership project)によって、標準化されている規格。セッション制御に SIP を採用しており、NGN 上に様々なマルチメディアサービスを実現するための基盤となるシステム。なお、3GPP2 では MMD (Multimedia Domain)と呼ばれる。

(*2) OMA (Open Mobile Alliance)

世界各国の移動体通信関連企業から構成され、モバイルアプリケーションの技術を規定する業界団体

記載されている団体名、会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立のソフトウェア開発企業です。SIPとVoIPを核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。また、業界標準プロトコルであるSIPに早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきたSIPとVoIPに関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社技術の普及を図る「SIPパートナープログラム」事業に注力しています。さらに現在は、各種CPU/OSベンダーとの連携により、SIP開発環境の拡充を図っております。

URL: <http://www.softfront.co.jp>

NECエレクトロニクス株式会社

NECエレクトロニクス株式会社は2002年11月1日に、分社型会社分割によりNECより分離、独立した半導体専門企業、汎用DRAMを除いたNECの半導体事業が独立したもので、従業員数は約24,000人、売上規模は年間約6,500億円(いずれも連結ベース)。NECエレクトロニクスは、1)顧客指向を徹底し、ソリューション提案力と品質の向上を通じて顧客満足を追求し、売上・収益を拡大すること、2)システム・オン・チップ、マイコン、個別半導体の三つの領域で、高品質で競争力のある製品を創出すること、3)グローバルな半導体ソリューション企業として、世界中のお客様とのビジネスを拡大すること、を事業方針としている。最先端独自技術を背景に顧客ニーズに応え、最適ソリューションを提供するビジネスパートナーを目指している。

URL: <http://www.necel.com>

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

管理本部 広報担当

(札幌本社) 内海 電話:011-623-1035 FAX:011-623-1002

(東京本社) 中村 電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail: press@softfront.co.jp

NECエレクトロニクス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

電話:044-435-1676 FAX:044-435-1669

E-mail: press@necel.com

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

URL: <http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html>

NECエレクトロニクス株式会社

URL: <http://www.platformovia.com/>